

# 日本神経精神薬理学会 第54回理事会議事録

日時：2012年11月30日（金）15：00～18：00

場所：コンベンションルーム・AP品川 会議室「N+O」

（〒108-0074 東京都港区高輪3-25-23 京急第2ビル9階 TEL：03-5798-3109）

出席者：2009-2012年度 池田和隆，石郷岡 純，大森哲郎，曾良一郎，仲田義啓 各理事  
加藤進昌 監事，米田幸雄 アドバイザー

2011-2014年度 山脇成人 理事長

大熊誠太郎，神庭重信，中村 純，西川 徹，南 雅文 各理事

2013-2016年度 尾崎紀夫，久住一郎，須原哲也，橋本謙二，加藤忠史，橋本 均

吉岡充弘 各理事，齋藤利和 監事（2011-2012年度 アドバイザー）

欠席者：2009-2012年度 野村総一郎，山田清文，山本経之 各理事

2011-2014年度 荻田喜代一，鈴木 勉 各理事，馬場明道 監事

2013-2016年度 武田弘志 理事

冒頭に山脇成人理事長から今回の理事会は新旧合同理事会となるため、前半に2011-2012年度の理事会での審議事項を行い、その後2013-2014年度理事会として、新理事長・各種委員会委員長の選出の後、各種委員会からの申し送りも兼ねた報告事項を行うとの議事進行に関する説明がなされた。

引き続き、前回（第53回）理事会議事録（案）・持ち回り理事会議決事項および前回（第42回）評議員会／総会議事録（案）が提出され、加筆訂正等あれば事務局までご連絡いただきたいとの依頼がなされた。

※その後、加筆訂正はなく、理事会提出の議事録を正式記録とした。

## I. 協議事項（2011-2012年度理事会関連）

### 1. 執行委員会設置の継続審議について

●山脇理事長から評議員会時の経過と執行委員会設置に関する説明がなされ、事前審議の意見が紹介された。また、執行委員会の具体的な位置づけを明確にするため、組織図（案）が示された。

●池田総務理事から評議員会前までの理事会内協議について状況報告がなされた。併せて、今回出席されていない役員からの意見が紹介された。（以下）

○執行委員会としてではなく、諮問委員会として柔軟な位置づけが良いのではないかと？

会の執行はあくまで理事会であり、理事会の執行権限が薄くなる印象は好ましくない。

○理事会として、学会の長期的なビジョンを視野に入れて活動していくことは必要であるが、長年同じメンバーが執行権限を有しているのは適切でない。透明性のある形での設置が望ましい。

●理事会での議論と評議員会での議論で何が問題であったのかを明確にする必要がある。

●メールでの持ち回り理事会のみでは、具体的な議論が難しく、お互いの意思が見えづらい。また、学会の将来に関わることは対面式で議論すべきである。この学会が40年以上発展してきたのは臨床系と非臨床系が上手く支え合い、合意していくことで発展を遂げてきた。今回の提案については、もう少し議論を深めて、決定した方が良く考える。

●会則・細則を再度見直す作業が必要である。組織として権限の独占等を防止できる体制が担保されている規定であれば、柔軟な活動ができる。

●運営方針として継続性を重視していれば、継続性の保証はできると考える。

今回の理事会は本件に関するこれまでの議論と継続審議内容の情報共有とする。また、当初予定

であった臨時評議員会の開催は中止し、新理事会で継続審議した後、第43回評議員会（沖縄大会）で提出できるよう議論を深めていくことが確認された。

なお、今回の議論において、理事会運営細則にある“Skype 理事会”は“WEB 理事会”へ文言を修正することが承認された。

## 2. JSNP/CINP 国際ワークショップについて

山協理事長から、CINP では世界的に新しい向精神薬開発が進んでいないことに危機感があり、CINP 理事会を広島で開催することを機に、本邦でも同様の問題が危惧されていることから、日本のトップ企業にも声を掛け、JSNP/CINP 国際ワークショップ「向精神薬開発における産官学連携の今後の展望と戦略」を12月17日に開催することになった。本件については、トランスレーショナル・メディカル・サイエンス委員会と国際連携ワーキンググループに協力（講演・座長）をお願いした。

今後の学会の重要な活動となるため、理事会への協力依頼と準備状況についての報告がなされた。

## 3. NP・CNP との今後の関係について

### 1) 2015 年大会の大会長について

2015 年は基礎系の大会長の担当予定であるが、臨機応変に対応していくことが確認された。合同年会については、急激な情勢の変化がない限りは、当会の独自性を失わないよう留意し維持していくとの方針に留めることとなった。

### 2) NP・CNP の統合については、難しい現状であるため、「連携」の位置付けとして、合同年会の開催に重点を置き、議論を進めていくことになった。

## 4. 精神科専門薬剤師に関する日本病院薬剤師会との連携について

山協理事長から、精神科専門薬剤師に関する日本病院薬剤師会との連携について、経過報告がなされた。本連携は、精神科薬物療法に関する専門的知識と優れた臨床技能を有する薬剤師を育成し、以てチーム医療を推進するために協力していくことを目的としている。

なお、窓口担当であった山田理事が今期で任期満了となるが、引き続き、本件のワーキンググループ長としてお願いすることが確認・承認された。（理事会では総務理事が所管担当）

## 5. 新入会者希望者承認の件

本年9月26日から11月28日までに正会員13名の入会申込者があったことが報告され、全員が承認された。

## II. 協議事項（2013-2014 年度理事会関連）

### 1. 新理事長の選出について

山協前理事長が推挙され、全会一致で再任が承認された。

### 2. 担当理事と委員長制度の採用について

山協理事長から、一部の委員会において、立ち上げたばかりの委員会や継続性を重視したいワーキンググループもあるため、委員会によっては、「委員長＝理事」ではなく、担当理事と委員長を別々にする制度を採用したいとの提案がなされ、承認された。なお、本件については、内規等で明文化した方がよいとのことから総務委員会で検討することになった。

### 3. 各種委員会委員長の選任について

山協理事長から以下の担当理事・各委員長の推挙がなされ、就任を依頼することになった。なお、

委員会については、実務的な活性化を目的として構成し、理事会で承認後、速やかに活動していきたいとの方針が述べられた。

総務委員長	：橋本 均	理事
編集委員長	：南 雅文	理事
財務委員長	：大熊 誠太郎	理事
学術賞選考委員長	：吉岡充弘	理事
倫理・利益相反委員長	：中村 純	理事
研究推進委員長	：尾崎紀夫	理事
長期計画委員長	：山脇成人	理事長
国際学術委員長	：池田和隆	評議員（担当理事：総務委員長）
広報委員長	：橋本亮太	評議員（担当理事：総務委員長）
TMS委員長	：石郷岡純	評議員（担当理事：総務委員長）
日薬連連携WG	：山田清文	評議員（担当理事：総務委員長）

### Ⅲ. 報告事項

#### 1. 各委員会報告（各種委員会からの申し送り事項について）

##### a. 総務・広報委員会（池田理事）

1) 以下の通り会員報告（2012年10月1日から2012年11月28日）がなされた。

会員数：1,189名（2012年11月28日現在）

内 訳：名誉会員 26名，功労会員 20名，評議員 224名

正会員 816名，学生会員 84名，賛助会員 19社

新入会： 13名

退 会：本人申出 2名

逝 去 1名

多年度会費未納による会員資格喪失 135名

物 故 者 一般会員 塩江邦彦 先生 2012年10月ご家族より連絡

2) 総務委員会引き継ぎ事項

(1) 執行委員会設置、理事長選出方法

(2) 理事監事選挙方法

(3) 評議員会での事前資料配布

(4) 名誉会員、功労会員の推戴準備

(5) 会員の資格確認（学生会員や、評議員印のない入会申込者の確認など）

(6) 魅力ある賛助会員制度

(トランスレーショナル・メディカル・サイエンス委員会との連携)

(7) 入会者増加対策

(8) 法人化の可能性

(9) CNP との関係

(10) 年会長への支援体制（共催セミナー依頼など）

(11) 会則等の改訂（不備の訂正など）

(12) 他学会からの依頼への対応（省庁への共同提言、共催依頼など）

3) 広報委員会引き継ぎ事項

(1) 学会ホームページの更新（他学会からの情報周知依頼への対応を含む）

(2) 年会における Meet the experts の企画

(3) 国際学会などにおける Japan Night など、JSNP の宣伝

(4) 他学会における JSNP の広報（精神神経学会など）

**b. 編集委員会（南理事）**

- 1) 投稿規程の改訂を検討中である。その一つは COI の反映であるが、手続面について、倫理委員会と編集委員会との接点を確認していく必要がある。
- 2) 現在の投稿は郵送でお願いしているが、今後 PDF 等のメール添付でお願いする形で予定している。当面は両方を可能として2年後に一本化する予定である。正式移行は、新編集委員会から理事会へ提案したいと考えている。
- 3) 学会誌のオンライン化については、学会の方針に関係するため、理事会での議論をお願いしたい。

**c. 財務委員会（大熊理事）**

平成 23 年度決算・平成 25 年度予算案が先の理事会・評議員会/総会で承認された。承認予算に基づき、学会の財務状況を確認していく。

**d. 国際学術委員会（大森理事・山協理事長）**

- 1) 海外からは日本の窓口は JSNP であることがオフィシャルになっている。CINP とは、今回の国際 WS の開催もあり、より太い繋がりになると思われる。
  - 2) ACNP は JSNP に対して 10 名の参加枠が割り当てられ、リーダーシップミーティングには、JSNP から池田和隆先生へ出席を依頼した。
  - 3) ECNP は、Nomenclature 委員会を設置した。マイアミでも委員会が開催される予定である。
  - 4) AsCNP は、セントラルオフィスは日本が担当することになり、岩田仲生先生（藤田保健衛生大学）が事務局長に就任した。
- 以上のように本会のプレゼンスは上がっており、理事会各位に協力依頼がなされた。

**e. 学術賞選考委員会（山田理事欠席のため山協理事長）**

資料に基づき、以下の報告がなされた。

前理事会からの引き継ぎ事項であった学術賞の見直しについては、今期の理事会および学術賞選考委員会委員の皆様のご協力により、学術奨励賞と優秀論文賞に分けて選考することになった。また、本年度、各賞の規定に基づき無事に第 1 回受賞者を選考することができた。次期学術賞選考委員会においても、JSNP の発展の繋がるような若手の表彰が行われることをお願いしたい。

**f. 長期計画委員会（石郷岡理事）**

前期委員会では、①国際交流の推進と②トランスレーショナル・メディカル・サイエンス委員会の立ち上げを 2 本柱として活動した。現在、これらの決定に基づき、委員会活動が進められている。この 2 本の柱は、日本神経精神薬理学会の恒常的に進めていくべき事業であり、社会貢献に通じる活動であるので、プレゼンスが低下しないように協力をお願いしたい。

**g. 研究推進委員会（曾良理事）**

- 1) 前期からの引継事項は、特になし。
- 2) 尾崎新委員長から、脳科連関係の補足報告がなされた。

(1) 日本学術会議が提出している大型予算について、平成 25 年 1～3 月に予定されている日本学術会議「学術の大型研究計画」の脳科学に関する公募に、脳科学関係で少なくとも 1 つは「重点大型計画」に採択されることを目指し、基礎研

究と臨床研究の連携を前提として、計画提案が検討されている。

- (2) 文部科学省「脳科学研究戦略推進プログラム」や「脳科学包括支援」などについての議論も予定されている。
- (3) JST からの依頼でこの分野の国際研究企画等の問い合わせもあるので、先生方のご協力を得て、しかるべき研究推進ができればと考えている。

#### h. 倫理委員会（利益相反）（中村理事）

利益相反に関する指針について先の評議員会／総会において承認いただいた。今年一年が試行期間となるので、進められるところから進めていく。なお、細則の（「研究」の定義）において、動物実験に関する定義が定めていないとの指摘があり、改定案が提示された。

協議の結果、

『第2条 本細則における「研究」には、すべての神経精神薬理学的研究を対象とする。』との文言へ修正することが承認された。

#### i. トランスレーショナル・メディカル・サイエンス委員会（石郷岡理事）

資料に基づき、以下の報告がなされた

- 1) 正式名称をトランスレーショナル・メディカル・サイエンス委員会（TMSC）とした。
- 2) 企業ニーズを知るため、委員会から企業に対して設置のアナウンスとアンケート調査を行うことになった。アンケート結果に基づき、具体的な活動指針を決定する。
- 3) 社会への情報発信として、学会がこのような活動を開始したことをプレス発表することも検討していきたい。

## 2. 日本脳科学関連学会連合（脳科連）報告

山脇理事長から資料に基づき、以下の報告がなされた。

- ・脳科連の運営委員として本学会からは山脇理事長が就任した。
- ・脳科連ホームページ (<http://www.brainscience-union.jp/>) が開設された。
- ・平成 24 年度の予算計画が脳科連運営委員会にて承認され、本予算計画に基づいた予算執行を行うため、平成 24 年度会費を加盟学会から徴収することになった。
- ・脳科連将来構想委員会が発足した。同委員会は、脳科学研究の将来構想についての検討を行う。

## 3. 第 43 回日本神経精神薬理学会（第 23 回日本臨床精神神経薬理学会と合同年会）準備状況報告

仲田会長から以下の年会準備状況について報告がなされた。

日 時：2013 年 10 月 24 日（木）～26 日（土）（10 月 23 日（水）は理事会・各委員会開催予定）

会 場：沖縄コンベンションセンター

会 長：仲田義啓（広島大学医歯薬学総合研究科薬学専攻医療薬学講座・教授）

- ・10 月 24 日～25 日が CNP プログラム、25 日～26 日が NP プログラムとして準備を進めている。
- ・Prof. Anthony Phillips (CINP President) を招待し、特別講演をお願いした。
- ・小池龍之介（僧侶）氏に 10 月 26 日に市民公開講座のような形で講演を依頼している。

## 4. その他

次回理事会は 3 月か 4 月に開催を予定する。

以上

平成 24 年 11 月 30 日  
日本神経精神薬理学会  
理事長 山脇 成人